



2021年6月14日

各 位

会 社 名 株式会社ギフト
代表者名 代表取締役社長 田川 翔
(コード：9279、東証一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 末廣 紀彦
(TEL. 042-860-7182)

2021年10月期第2四半期連結累計期間
連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ
及び営業外収益（補助金収入）の計上に関するお知らせ

2020年12月15日に公表いたしました2021年10月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、営業外収益（補助金収入）の計上につきましてもその概要をお知らせいたします。

記

1. 2021年10月期第2四半期連結累計期間連結業績予想値と実績値との差異

(1) 第2四半期連結累計期間（2020年11月1日～2021年4月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,100	百万円 400	百万円 450	百万円 280	円 28.20
今回実績値 (B)	6,303	306	553	355	35.74
増減額 (B-A)	△796	△93	103	75	
増減率 (%)	△11.2	△23.5	23.0	26.9	
(ご参考)前第2四半期実績 (2020年10月期第2四半期)	5,301	292	318	171	17.28

(注) 当社は、2020年3月19日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。1株当たり四半期純利益は、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 差異の理由

2021年10月期第2四半期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を一定程度見積もってはいったものの緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置対象となった自治体において、営業時間短縮要請に応じたことにより、来店客数が想定を下回りました。その結果、売上高、営業利益が前回予想を下回ることになりましたが、一方で、営業時間短縮に伴う時短協力金、店舗移転に伴う営業補償金の計上により経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を上回ることとなりました。営業時間短縮に伴う時短協力金は、営業時間を短縮したタイミングと収益計上のタイミングに差異が生じることとなります。詳細は、下記の「2. 営業外収益（補助金収入）の計上」をご覧ください。

なお、通期連結業績予想につきましては、現時点では2020年12月15日公表の予想値を据え置いております。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、2021年10月期は継続するものの下期以降段階的に改善する、という前提のもと、2021年10月期の連結業績予想を作成しておりますが、今後の経営環境を注視し、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 営業外収益（補助金収入）の計上

当社グループは、2021年10月期第2四半期連結累計期間におきまして、営業外収益に補助金収入150,940千円を計上いたしました。これは、各自治体に営業時間短縮に伴う時短協力金の申請を行い、2021年10月期第2四半期連結累計期間に時短協力金の支給が決定したためです。

営業時間短縮要請に伴う時短協力金については引き続き申請予定のものがあり、開示が必要となった場合には速やかに公表いたします。

(参考) 時短協力金の申請及び支給状況 (2021年10月期第2四半期決算短信提出時点)

	4/30 まで	5/1 以降			合計	時短延日数
	支給済	申請済 支給決定済	申請済 支給未決定	申請予定		
時短日数 (日)	2,586 (-)	2,515 (-)	2,462 (124)	4,300 (3,493)	9,277 (3,617)	11,863 (3,617)
時短協力金 (千円)	150,940	140,180	注2	注2	注2	注2

(注1) 時短日数の括弧内は、時短日数の内、売上高減少方式（いわゆる大企業方式）に基づいた時短日数です。

(注2) 2021年10月期第2四半期決算短信提出時点で申請済支給未決定、申請予定の時短協力金については、支給決定の時点で収益を認識予定です。

以上